

ばい煙に関する説明書

事業者名

事業場名

設備名

年 月

ばい煙に関する説明書

一 設置しようとする発電設備等の概要

事業者名		
代表者氏名		
代理人の職・氏名		
住 所		
事業場の名称		
事業場の所在地		
ばい煙発生施設の概要	ばい煙発生施設 番号及び名称	
	ばい煙発生施設の 型式	
	蒸発量又は焼却能力	
	加熱面積又は 火格子面積	
	燃料の燃焼能力 (重油換算)	
	発電設備等の番号 発電設備等の出力	
	設 置 年 月	
	着工・使用開始予 定年月	年 月 ～ 年 月

- (注) 1 ばい煙発生施設番号及び名称の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる号番号及び名称を記載すること。
- 2 ばい煙発生施設がボイラーの場合は、蒸発量を記入すること。
- 3 ばい煙発生施設が発電設備又は動力設備の場合は、設備の番号及び出力を記入すること。

二 ばい煙発生施設使用の方法（最大連続時）

工場又は事業場における 施設の名称・番号		
排出基準	硫黄酸化物	m^3N/h
	（規制K値）	（ $K =$ ）
	窒素酸化物	ppm（容量比）
	ばいじん	mg/m^3N
使用燃料	種類	
	発熱量	kJ/kg （低位）
	比重	
	硫黄分	%（重量比）
	窒素分	%（重量比）
	灰分	%（重量比）
	使用量	kg/h （ l/h ）
排煙条件	排出ガス量（湿り）	m^3N/h
	排出ガス量（乾き）	m^3N/h
	排出ガス温度	$^{\circ}C$
	排出ガス速度	m/s
	煙突の実高さ	m
	煙突の有効高さ	m
	排出ガス中の酸素濃度	%（容量比）
排出ばい煙	硫黄酸化物の量	m^3N/h
	硫黄酸化物の濃度	ppm（容量比）
	硫黄酸化物の最大 着地濃度	ppm（容量比）
	（相当K値）	（ $K =$ 相当）
	窒素酸化物の量	m^3N/h
	窒素酸化物の濃度	ppm（容量比）（ $O_2 =$ %）
	ばいじんの量	kg/h
	ばいじんの濃度	mg/m^3N （ $O_2 =$ %）
参考事項	この欄には、以下の事項等について記載すること。	
	（1）ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設について、一工程中の排出量の変動の状況	
	（2）窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法	
	（3）1日の標準稼働時間が24時間に満たない場合の稼働時間	
	（4）ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常用において用いられるものをいう。）の別	

三 ばい煙の処理方法

該当なし

四 添付図面

- (1) 発電所の所在地を示す5万分の1の地形図（設置場所を明示すること。）
- (2) 発電所構内配置図（ばい煙発生施設、ばい煙処理設備、煙突の設置場所を明示すること。）
- (3) ばい煙発生施設構造概要図（主要寸法及びバーナーの位置又は、シリンダ径及び気筒数等を明示すること。）
- (4) ばい煙処理設備構造概要図（主要寸法、各部名称等を明示すること。）

- 備考
- 1 本説明書のうち一～四について、写しを一部提出すること。
 - 2 本説明書の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
 - 3 非常用の設備にあっては、以下五～九について添付することを要しない。